



G 1 高松宮記念

出走馬全頭診断書



2023年3月23日

血統馬券の参考書

熊悶

高松宮記念は時期的に路盤の状態が悪くなりやすく、良馬場でも高速馬場になる事はあまりございません。

そのため、ダート指向血統馬や、ダートで勝ち星があるようなパワータイプの大型馬が穴をあける傾向が強いレース質になっております。

また、Bコース替り週で、内ラチ沿いも使える状態であるため、外を回して追い上げる馬にとっては距離ロスを埋め合わせるチャンスが薄く、よほど能力が抜けていない限り、馬券圏内に届かせるのは難しいようです。

つまり、枠順が非常に重要なレースという事になります。

そのあたりを踏まえた上で、今年の出走馬を評価して参りたいと思います。

・アグリ【芝指向血統】

父:カラヴァッジョ(欧ストームバード系)
母父:ウォーフロント(米ダンチヒ系)
祖母父:ガリレオ(欧サドラーズ系)

父は英愛の1200mG1勝ち馬で産駒は芝タイプ。
祖母は英愛のマイルG1で2着4回。
父系も母系もダートの要素が薄く、1200mのG1で、道悪になるとパワー不足を露呈する可能性も。

・ウインマーベル【ダート指向血統馬】

父:アイルハヴアナザー(米フォーティーナイナー系)

母父:フジキセキ(Pサンデー系)

祖母父:欧ニジンスキー

基準タイムを上回る時計で勝ったのが
重馬場の左回り芝1200m(超消耗戦)。
フォーティーナイナー系もフジキセキも
短距離の消耗戦に強い血統で、
アイルハヴアナザーはダート種牡馬。
昨秋のG1スプリンターズS2着馬で、
4勝中3勝が左回りのサウスポーなら、
ココは期待感が募りますな。

ただ、早熟の気配がある牝系なので、
4歳を迎えて昨秋以上に走れるかどうかの
不安は拭えませぬ。

・ウォーターナビレラ【芝指向血統】

父:シルバーステート(ディープ系)

母父:キングハイロー(欧リファール系)

祖母父:マヤノトップガン(欧ロベルト系)

ダート短距離牝系ではありますが、
本馬は持続力を補完する血統が不足しており、
ここで変わり身を期待するのは…

・オパールシャルム【芝指向血統】

父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

母父:タイキシャトル(米ハイロー系)

祖母父:タバスコキャット(米ストームバード系)

芝指向の血統ながら、牝系は芝ダート兼用タイプ。
ダイワメジャー×ハイロー系は18年3着ナックビーナスと同じ配合。
ただ、ナックビーナスは重賞で複数回馬券になった
実力馬でしたので同じように評価する訳には参りませぬ。

・キルロード【ダート指向血統】

父：ロードカナロア(欧キングマンボ系)
母父：サクラバクシンオー(欧プリンスリーギフト系)
祖母父：シーキングザゴールド(米ミスプロ系)

ロードカナロア×サクラバクシンオーは
中京芝1200mのニックス配合でございます。

重馬場開催の昨年は17人気で3着に激走。

本馬の初勝利はダートでのもの。
また、中京芝1200mの不良馬場で基準タイムを上回る
時計で圧勝しており、今年も道悪になるようなら。

・グレナディアガーズ【芝指向血統】

父：フランケル(欧サドラーズ系)
母父：ハーリントン(米ミスプロ系)
祖母父：シルバーデピュティ(米ヴァイスリージェント系)

昨年は外を回した追込み勢が全滅する
「インバタ有利馬場」で3人気12着と惨敗。

とは言え、同じように外を回して本馬より後ろから
追込んだ15人気のエイティーンガールに差されて
置いて行かれたのは褒められたものではございませんな。

血統的にも馬柱的にも1200mは短すぎる印象で、今年も人気するようなら、切って妙味となるやも…

・ダディーズビビット【ダート指向血統馬】

父:キズナ(ディープ系)

母父:フレンチデピュティ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:クリス(欧エタン系/ネイティヴダンサー系)

当コースのリステッド競走で2着。

G2セントウルSはレコード決着の4着ではやむなし。

全4勝中3勝が左回りのサウスポー。

牝系ファミリーの中京芝1200m戦績は

【4・8・4・15/31】で複勝率51.6%・複回率221%

ファミリーからは当レース2着のスリープレスナイト。

ディープ系の種牡馬産駒はグランアレグリアと

ミッキーアイルの2頭しか馬券になっていないレースで、

本馬自身1200mに勝ち星がございませぬので、

イチオシとは参りませぬが一応の警戒を。

・トゥラヴェスーラ【芝指向血統】

父:ドリームジャーニー(Lサンデー系)

母父:アドマイヤコジーン(欧カロ系/グレイソヴリン系)

祖母父:ウッドマン(米ミスプロ系)

芝血統ですが、ノーザンテーストの4×4クロスを保持。

また、母父に欧州型ナスルーラ系の中でも、

短距離戦の持続力勝負に強いコジーンの血。

これにより、タフな短距離戦で常に上位争いをしております。

父が晩成型のステイゴールド系ということもあり、

能力の衰える曲線が非常に穏やかで、昨年も0秒1差4着。
ただ、8歳を迎えた今、昨年以上の上積みは…？

また、昨年は外枠に入りながらも、鮫島克駿殿が道中で
上手く最内に潜り込ませ、インバタ有利馬場を
フル活用する神騎乗を見せた結果でもありました。
その鞍上が丹内殿に乗り替わるのも歓迎しにくいところ。

・トウシンマカオ【芝指向血統】

父:ビッグアーサー(欧プリンスリーギフト系)
母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)
祖母父:ウッドマン(米ミスプロ系)

父は16年の優勝馬。
母父Tサンデー系は過去10年で一度も馬券絡み無し。

前走のシルクロードSは、外枠不利の馬場で、
ハンデ58.5キロと小柄な本馬には酷量とも言える斤量。

巻き返しの余地は無くもないでしょうが、
このレースのタフさには馬格が少し足りない印象も。

ちなみに…
父は現役時代520キロを超す雄大な
馬格の持ち主でございました。

・ナムラクレア【芝指向血統】

父:ミッキーアイル(ディープ系)
母父:ストームキャット(米ストームバード系)
祖母父:クリスエス(欧ロベルト系)

父は2年連続で馬券に絡んでおりましたが、

1年目は稍重(標準馬場)で3着。
2年目は超高速馬場で2着。
ディープ系なので、消耗戦よりもある程度
未脚の切れが活きる馬場の方が、成績の
良かった競走馬でございました。

本馬も、高速馬場の方が結果を残せており
極端な道悪や、前傾ラップの消耗戦になると
能力を出し切れない可能性も考えておきたいところ。

・ナランフレグ【ダート指向血統】

父:ゴールドアリュール(Dサンデー系)
母父:ブライアンズタイム(欧ロベルト系)
祖母父:タマモクロス(欧フォルティノ系/グレイソヴリン系)

昨年の勝ち馬。
なのですが・・・
この馬は枠順に恵まれる事が多く、
中京1200m重賞の鬼門となる外枠に入ると
丸田殿は大外をぶん回しますので
一昨年のセントウルS(10着)のような惨敗も。
枠順を見て取捨を検討したい1頭でございます。

・ピクシーナイト【芝指向血統】

父:モーリス(欧ロベルト系)
母父:キングハイロー(欧リファール系)
祖母父:サクラバクシンオー(欧プリンスリーギフト系)

故障で1年3ヶ月ぶりの競馬。
一昨年のセントウルSは8枠に入り
外を回して追い上げて僅差の2着に健闘。
G1スプリンターズSでは、並み居る強豪を

子ども扱いするような楽勝。

スプリント能力の高さは
間違いなく現役最強クラスだと思われます。

520キロ級の雄大な馬格の持ち主であり、
問題はどの程度まで実践勘を取り戻しているか？
という事と、道悪がどうか？であろうと考えます。

仕上がり具合に関しては、1週前追切の栗東坂路で
4F50秒3の猛時計をマークしており、
最終追い切りも、加速ラップ評価Bに該当。
加えてノーザンファーム生産馬である事を考えますと
外厩で存分に仕上げられて帰厩していると思われます。

中京は木曜日に関わりかなりまとまった降雨がある予報で、
土日もぐずついた天候になりそう。
持ち前のスピードを活かせぬ馬場で、久々の競馬。
なれば、苦しい闘いになるかも知れませぬな。

・ファストフォース【ダート指向血統】

父：ロードカナロア(欧キングマンボ系)

母父：サクラバクシンオー(欧プリンスリーギフト系)

祖母父：デインヒル(欧ダンチヒ系)

キルロードと同じ中京1200mニックス配合馬。
昨年は7枠に入り、出ムチを入れて前に行こうとするも叶わず。
結局、4角は外を回して追い上げる最悪の競馬となり
0秒3差9着と言う結果でございました。(柴山騎手)
それでも、上り3F時計は3着キルロードと同じタイムで、
通ったところの差が、そのまま着差になった印象。

今回は、昨秋のセントウルS(8枠)で2着に持って来た
団野殿の手綱となり、これは大幅な鞍上強化と申せましょう。

・ホープフルサイン【ダート指向血統】

父:モンテロツソ(欧ミスプロ系)
母父:グラスワンダー(欧ロベルト系)
祖母父:サンデーサイレンス

父が大系統ミスプロ系は、このレースで最も好走馬を出しておりますが、モンテロツソ産駒も、母父にグラスワンダーを持つ馬も、おおむね道悪は苦手でございますな。

本馬自身も牝系ファミリーも道悪は苦手。

・ボンボヤージ【芝指向血統】

父:ロードカナロア(欧キングマンボ系)
母父:ディーピンパクト
祖母父:デインヒル(欧ダンチヒ系)

重賞ウイナーではありますが、母父ディーピンパクトらしく高速上りが本領のタイプ。

馬体も小さく、斤量規定の変更による牝馬56キロはこたえそう。
(北九州記念優勝は斤量51キロ)

・メイケイエール【ダート指向血統】

父:ミッキーアイル(ディープ系)
母父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系)
祖母父:クロフネ

牝系ファミリーはソダシと同じ

パワーにも優れたダートファミリーでございます。

昨年は外枠に入り、4角で大外を回るロスに泣いた
0秒1差の5着で、道悪は敗因ではないと考えられます。

2度のレコード勝ちがあるように、
最も力を出せるのは高速馬場だと考えられますが、
牝馬としては身体が大きく、かなり馬場が重かった
小倉2歳Sを完勝している事からも、道悪でも
大きく割り引く必要はないと考えております。

また、休み明けが買い時の馬でもあり
枠順次第で印の軽重を考えたいところ。

・ロータスランド【芝指向血統】

父:ポイントオブエントリー(欧ロベルト系)
母父:スキヤットダディ(米ストームバード系)
祖母父:クリスエス(欧ロベルト系)

昨年の2着馬。

父は米国の芝中距離G1を5勝。
産駒の成績も1600mから2000mが本領で、
決してスプリント種牡馬ではありません。

ただ、本馬の場合は、母父にスキヤットダディを
持っており、この血は19年の優勝馬ミスターメロディの
父でもあり、道悪やダートに強い短距離戦血統になります。

ちなみに、本馬は雨馬場に
5回出走して連対率100%でございます。

今年は岩田父の手綱になりますので
内枠を引けば楽しみでございますな。

・ヴェントヴォーチェ【ダート指向血統】

父：タートルボウル(欧ノーザンダンサー系)

母父：ディスタントビュー(米ミスプロ系)

祖母父：APインディ(米ボールドルーラー系)

タートルボウル産駒はダートの勝ち星シェアが56.7%のダート中距離種牡馬ですが、母父に米国型血統を持たせることで芝の短距離馬が出来上がる一風変わった種牡馬ですな。(タイセイビジョンは例外的な存在です)

本馬の場合は、
母父も祖母父も米国型の配合で
1200m重賞を2勝しております。

ただ、G1となると少し首をかしげたくなるのが
タートルボウルがマイナー種牡馬と呼ばれるゆえん。

得意の中山でもG1では通用しておらず、
ここは軽く押さえる程度が妥当ではないかと・・・